

回覧

講演

戦国を旅した男 石見岩山城主 多胡辰敬（たごときたか）を語る



講師 曾田博久
とき 2026年11月3日（祝日）10時～11時30分
ところ 長浜コミュニティセンター2階ホール

多胡辰敬とは……戦国時代の尼子の武将。島根県大田市久手（くて）町刺鹿（さつか）の小さな山城岩山城主。この城は雲石の国境にあり、出雲を守る石見国最後の砦。毛利の侵攻を前に自ら望んで城主となり城と運命を共にした。戦国史では無名の武将だが、没後464年経った今も久手では愛されている。

幼い頃は将棋の天才児。26歳から10年以上も諸国を遍歴。講演では、この異色の武士が後世に残した数々の心温まる言葉について語ります。

曾田博久略歴 1947生 出雲市荒茅町在住 日本脚本家連盟所属

『科学忍者隊ガッチャマン』や『秘密戦隊ゴレンジャー』などの子供番組、東映のTV時代劇やアクション物、カプコンのゲームなどの脚本を手掛ける。

2005年から文庫長編書下ろし小説『新三郎武狂帖シリーズ』、『同行二人長屋物語シリーズ』を執筆するも、妻が病に倒れ介護しながらの執筆となる。

介護と執筆の両立が難しくなり、2011年、介護に専念するために帰郷したが、小説への夢断ちがたく再び筆を執り、介護を続けながら長年の夢だった「多胡辰敬」を執筆。妻は完成を見ることなく三年前に亡くなる。紙書籍として出版するのに14年かかる。

この本は一般の書店では販売されていません。パソコンやスマホを使いAmazonで購入します。価格は税込みで各巻2090円（全4巻）。

主催 長浜コミュニティセンター俳句教室 担当 川上正夫 TEL090-3171-8546

後援 長浜地区自治協会 松雲山高円寺 荒茅町中組町内会

入場料 無料